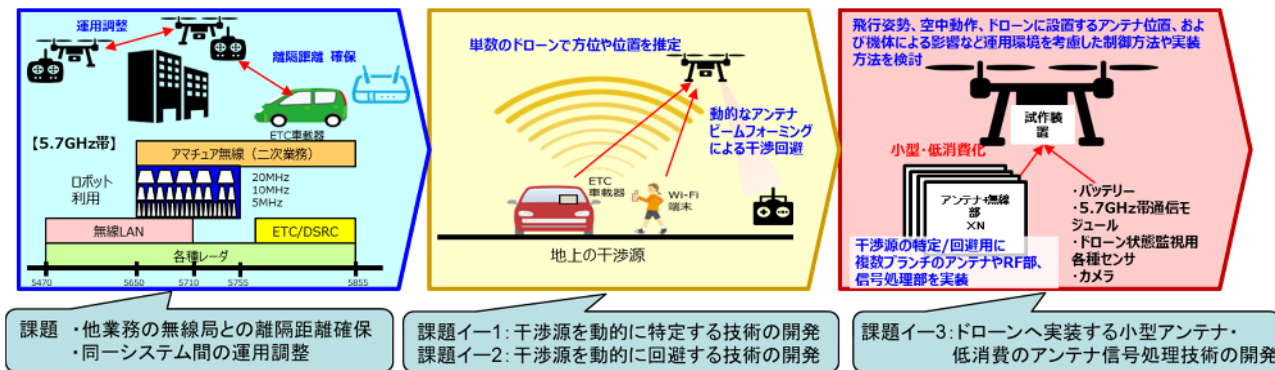
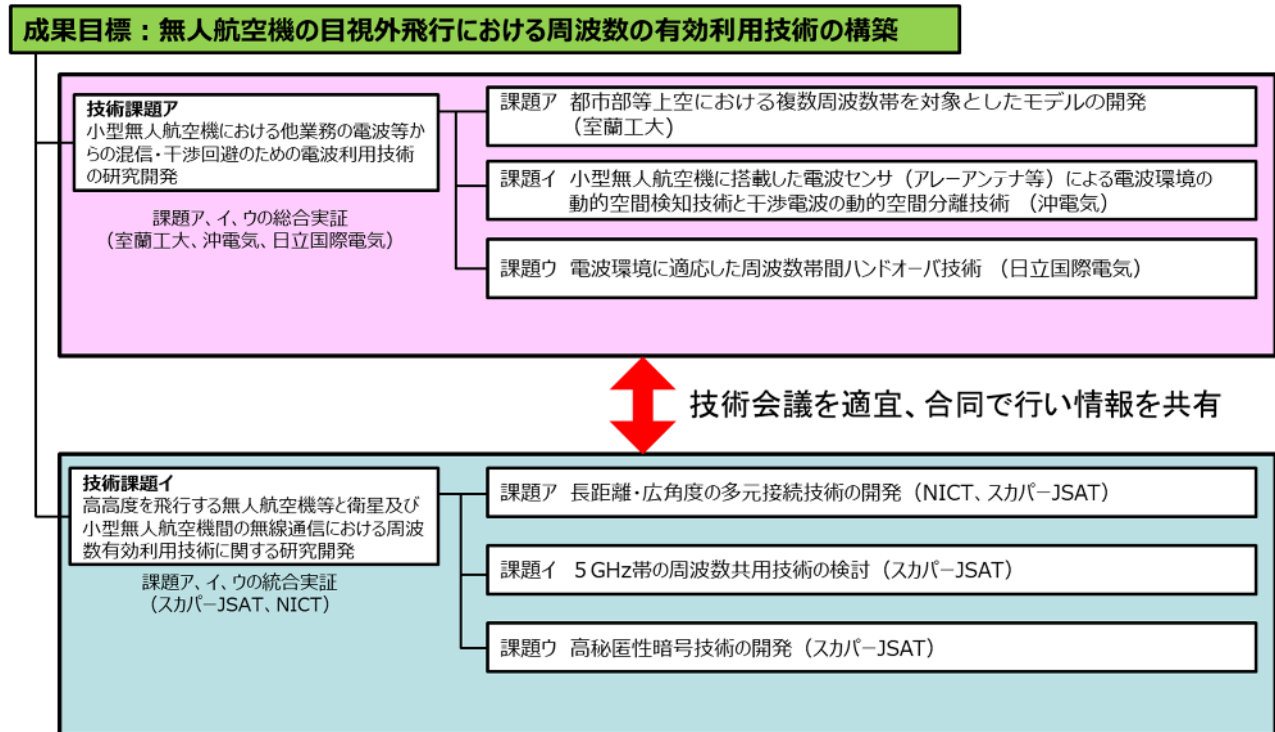


実施課題と体制



● 研究開発内容

OKI は、本研究開発の中の、「【課題イ】小型無人航空機に搭載した電波センサ(アレーアンテナ等)による電波環境の動的空間検知技術と干渉電波の動的空間分離技術」の研究開発を担当し、以下の3つの技術を開発・実証していきます。

電波環境の動的空間検知技術の確立

ドローンなどの小型無人航空機が利用する電波と、混信・干渉を起こす可能性のある電波 (ETC システムや Wi-Fi) の到来方向を、動的に精度よく推定する技術

電波の動的空間分離技術の確立

ドローンで使用する電波を、上記の技術で推定した方向に出さない(干渉を与えない)ように制御し、かつドローン - コントローラー間で正しく通信できるように、電波のビームを動的に成形するビームフォーミング技術

小型低消費のアンテナ及び制御部の開発

これらの技術を、電力消費や搭載スペースに制約のあるドローンに搭載できるように、小型化、低消費化する技術